

◆学校だより◆

Obihiro Hanazono Elementary School

# はなぞの



帯広市立花園小学校

ホームページ

QRコード



令和5年 3月24日

発行者 菅原 優博

## R4 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果と考察

今年度行われた全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果考察が終わりました。今年度の重点指導項目であった「楽しみながら運動し、力を高めること」については、実技結果と児童質問紙の結果から一定の成果を得られたと考えます。以下は5年生の結果・考察です。

5年男子（18名）

◎全国平均を大きく上回った種目

「20mシャトルラン」  
「反復横とび」

○全国平均を上回った種目

「握力」  
「長座体前屈」  
「50m走」

▲全国平均を下回った種目

「ソフトボール投げ」  
「上体起こし」  
「立ち幅とび」

○傾向

「シャトルラン」や「反復横とび」の数値が高く、筋持久力の発達と瞬発力の高さが分かる。一方で「立ち幅とび」や「上体起こし」の数値が全国平均を下回る結果となった。

5年女子（12名）

◎全国平均を大きく上回った種目

「立ち幅とび」  
「反復横とび」

○全国平均を上回った種目

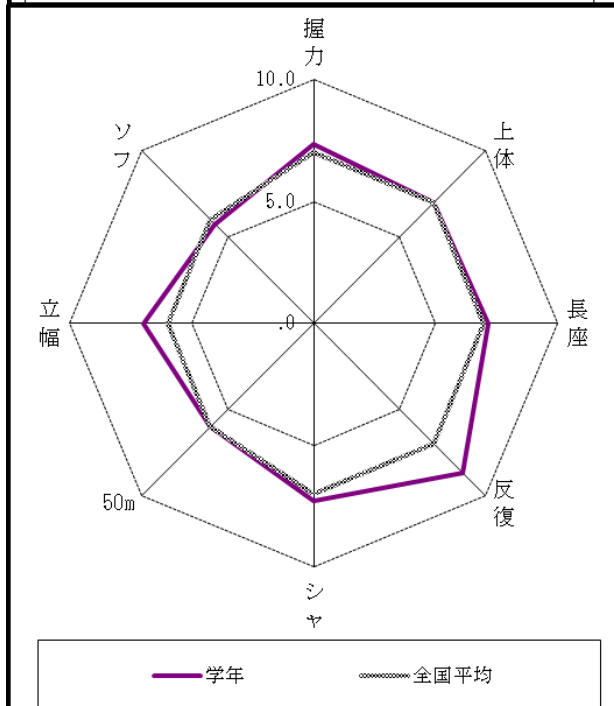
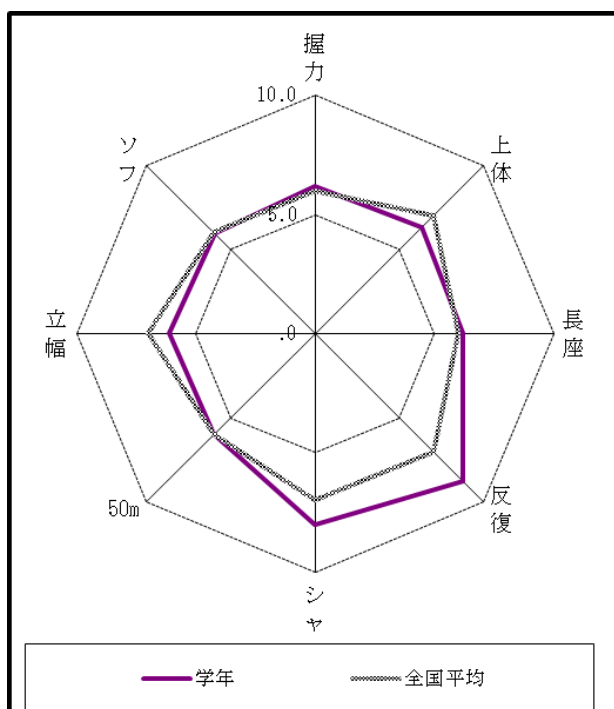
「20mシャトルラン」  
「握力」  
「長座体前屈」  
「50m走」

▲全国平均を下回った種目

「上体起こし」  
「ソフトボール投げ」

○傾向

「立ち幅跳び」や「反復横とび」、「シャトルラン」、「握力」の数値が全国平均を上回っている。一方で、「ソフトボール投げ」は全国平均を下回っている。



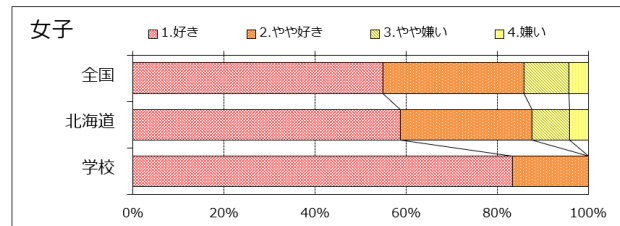
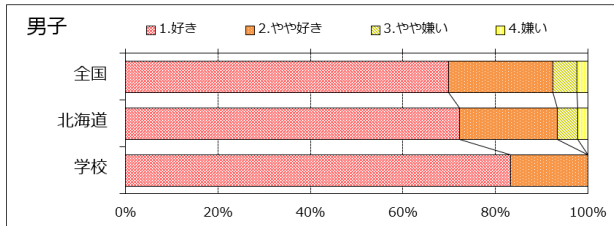
## □本校の成果と課題

### 成 果

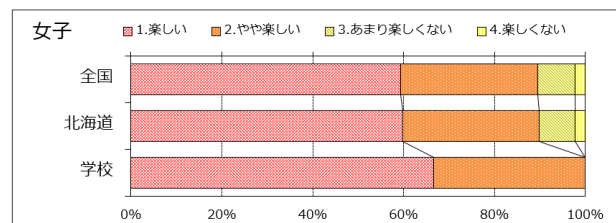
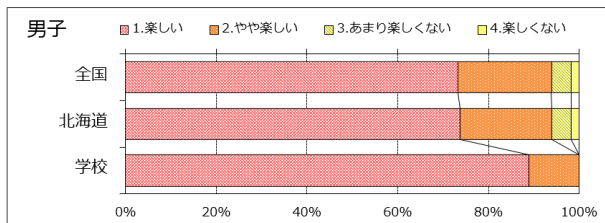
○男女ともに、「握力」と「長座体前屈」、「反復横とび」の項目で全国平均を上回っている点は、近年の本校の成果であると感じます。また、今年度は「20mシャトルラン」の項目で男女それぞれ数値を伸ばしていることから、日頃の教育活動の成果を感じるとともに、日常生活での変化はあったのか考察していきたいと思います。

○今年度の重点項目であった「楽しみながら運動し、力を高めること」については、児童質問紙にて以下の結果が見られました。

### Q.「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について



### Q.「体育の授業は楽しいですか」の項目について



昨年度と比較し、「運動が好き」、「体育の授業が楽しい」と答えた児童が大きく増えています。このことをこの学年の特色と捉えるのではなく、日々の取組の成果であると考えられるようにこれからも授業改善に励んでいきたいと思います。

### 課 題

●男女ともに「上体起こし」、「ソフトボール投げ」が全国平均を下回る結果となりました。この2つに関しては、上体の筋力が影響する項目であるとともに、技術的な指導が必要な項目でもあります。このことから、事前にコツを伝えたり、体育の授業で関連した動きを練習したりすることが必要であると考えます。

#### ○今後の取組について①

新体力テストにおいて計測する種目は、あらゆる運動につながるものであることから、体育の授業において子どもたちに付けたい力を意識しながら、指導を行う必要があります。次年度については、「投げる」運動と、「筋瞬発力」に重点を置いて指導していきます。今年度は投球フォームロケットを購入し、体育の時間に使えるよう整備しました。こうした道具を上手く使い、遠くに投げるために必要な体の使い方を習得させていきます。また、引き続き準備運動の時間を有効に活用し、短く素早い動きを意識した遊びを通して瞬発力を高めていきます。

#### ○今後の取組について②

児童質問紙において、「体育の授業で進んで学習に参加している」と「体育の目標（ねらい）についてできたり、分かたりした経験がある」の2つの項目が低い傾向にありました。このことから、子どもたちにその授業における目標（ねらい）を明確に伝え、課題意識をもたせることや、振り返り・自己評価の時間を設定し、児童が達成感をもてるような取組の工夫をしていく必要があります。

今年度の調査結果も個人票として子どもたちにフィードバックしています。結果表の数値にこだわるのではなく、現状を理解し、これからの運動習慣につながる活用ができるよう、お子さんと一緒に確認していただくと幸いです。次年度もご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。